

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館

〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp

5年ぶりに開催、公民館大会!!

『つどう』を考える

令和5年度みどり市公民館大会が3月2日(土)に多世

代交流館で開催されました。

5年ぶりの開催の運びとな

った大会は「なぜ公民館は『つどう』を大切にす

の？」をテーマとし、群馬大学共同教育学部兼任講師の茂木勇さんの講演で始ま

りました。

【講演要旨】

2019年12月、中国で発生したコロナが瞬く間に

世界中に広がりました。日本でもその影響を受け社会

教育の要となる公民館は、事業や貸館業務等の縮小が

余儀なくされました。公民



▲『つどう』の大切さを語る講師の茂木勇さん

館の役割である「つどう」が縮小したことで「まなぶ」「むすぶ」も小さくなってしまったのです。

公民館はまず「つどう」ことが大切です。

建物としての公民館を0とすると、それを1

にするのは住民の想いと行動で、住民の想いが表れるのが雑談で

す。そして、「まなぶ」を講座などに限定せず、

ゆるやかな場・つながる場・居場所として公

民館を使うことが求められます。そのためには市民と

市民、市民と職員の雑談が大切です。

平均寿命が延びる中、家族・友人・社会との「つながり」を大切にし、公民館

に新しい「つながり」を構築することが人の幸せにつながります。そして、地域

資源を活かすことや、企業や団体との協働事業、デジ

タル事業等を取り入れる事ができれば、住民の人生の

幸福度も高まるのではない

でしょうか。



▲熱心に議論する分代会

講演の終了後、グループに分かれて分代会が開かれ、講演の感想、公民館への想いやこれからの地域づくりなどの話し合いが行われました。

全体会のまとめとして、人とのつながりが重要で若男女が雑談できる場が必要である。多世代交流が求められている。地域の歴史や文化の発掘と継承。そして、「つどう」ための移動手段を求めるなどの声がありました。

思い出を文集に

お母さんと一緒教室は2月16日(金)と3月1日(金)の2日間で一年のまとめの「文集づくり」を行いました。交流ホールでお母さんたちは写真を切り取り、思い出を貼り付けていきました。子どもたちはお母さんの見えるところで安心して遊んでいました。手を動かしながら、新年度からの子どもたちの入園先や、みどり市

の子育てに対する要望などを話していました。お母さんは「子どもと一緒に色々な体験ができて楽しかった」と写真を見ながら一年間を振り返っていました。



▲幸せのかけらがいっぱい😊

講座から

新サークル誕生!!

「野菜ソムリエが贈るグルテンフリークッキング(全3回)」の最終回が2月



▲米粉パン生地に愛を込めて♥

17日(土)に開催されました。

13組が参加し、さばのスパイスカレーと米粉のロールパンを作りました。大人も子どもも一緒にチームプレーで作業が



▲米粉ロール(上段) & 鯖カレー(下段)

どンドン進みます。料理実習室はスパイスと焼かれたパンの香ばしい匂いでいっぱいになりました。調理後は、みんなで歓談しながら

試食しました。そして希望者でサークル「ビューティークッキング」を結成し、4月から活動していくことになりました。今後の活動に期待しています。

一年を振り返り

第4回みどり市笠懸町地区公民館連絡協議会全体会が2月28日(水)に笠懸公民館で開催され、令和5年度の活動を振り返りました。

コロナ禍の約4年間、様々な制約を受け中止していた行事やイベント。令和5年度はそれらが復活した一年でした。

地域の活動が再開されることは、地域の結束を強め、活気を取り戻す素晴らしい兆しです。各地区公民館の館長・主事の皆さんのこの一年間のご尽力に心から感謝申し上げます。一年間お疲れ様でした。



▲最後に館長・主事の皆さんでハイチーズ📷

笠懸公民館SNS紹介

① Instagram
フォローしてね👉



② YouTube
チャンネル登録してね👉



お手持ちのスマホでぜひご覧ください!!

生涯学習大会開催

第18回みどり市生涯学習大会が2月11日(日)にグンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)で開催されました。



▲会場に響く八木節音頭が

放課後の子どもの居場所づくりとして毎月「とまり木食事会」を開催している「とまり木」が、みどり市教育委員会表彰を受賞しました。また、同団体は令和5年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰も受賞して

います。

笠懸知会による活動発表では、「上州八木節音頭」「国定忠治」の2曲が披露され、軽快な音頭は会場中を暖かな雰囲気にしてくれました。

講演会では作家・歌手であるドリアン助川さんによる、「私たちはなぜ生まれてきたのか?」小説『あん』でハンセン病回復者の人生を描いた意味」と題した講演がありました。

小説『あん』を執筆する中で出会った方とのエピソードや、命を感じる事の重要性、人生無駄な事は無く、まわり道も時には必要である、と話していました。また、助川さんは独自に考えた概念である「積極的感受」

- ・人は単独で存在し得ない
- ・全ては関係性の中にある
- ・分断と虚無

を会場の皆さんに提案しました。最後に小説『あん』のモデルになった上野さんの手紙を朗読しましたが、とても感慨深い内容でした。

地区公民館だより ⑩

笠懸町第10区

笠懸町10区公民館は区民の活動拠点、交流・憩いの場として多くの区民やサークルの方々に利用されています。

また、常に利用しやすい環境を保つため、各団体及びサークルの方々による定期的な清掃も実施しています。

有事に備えて

婦人会消防研修

笠懸町婦人会の消防研修が、3月2日(土)に桐生みどり消防署で行われ、23名の会員が参加しました。

最初に、以前発生した震災のビデオを見ました。

今年度は元日早々、石川県能登半島で地震がありました。崩れ落ちた家屋、火事で跡形もなく消えた家々、戸惑う人達。いつか来るかもしれないと思いつながら「まさか」の気持ちが強くなり、テレビから流れる映像を見

たこともあり、様々なイベント(八木節の練習、納涼祭、クリスマス会、かるた大会に向けた練習)も再開され、以前のような活気も出てきました。

来年度からは毎年6月に実施しているスプロクフェスティバルも実施し、コロナ禍以前の活動に戻る予定です。

これからも各団体・サークル並びに、区民の皆様と協力し、誰でも利用しやすい公民館として地域に貢献出来る様、活動を行って

ながら、ただただ途方に暮れてしまう。他人事とは思えない、そんな状況に会員共々心を痛めていました。

救急講習では、心臓マッサージを丁寧に説明してくれ、過去に何度も講習を受けた会員も、改めて学び直すことができました。

しっかりと身に着け、もしもの際に人命救助ができれば素晴らしいですね。

その後、水の出る消火器を使って消火の訓練をしました。地震体験車では、震



▲区民の憩いの場 (10区公民館)

きたいと思えます。

度7の揺れを体験。凄い揺れにビックリ！机にしがみつき声を張り上げていました。

最後はハシゴ車に乗りました。上空からの景色を眺めながら、下にいる仲間たちには手を振る人もいました。外は風が強くて寒かったけれど、参加者にとって有意義な研修会になったことでしょう。



続々開催!!

ふるさとギャラリーで作品展

書道の美を楽しもう

笠懸書道協会の書道展が2月6日(火)から11日(日)まで開催されました。会場は笠懸公民館ふるさとギャラリーです。

今回は24点が展示され、どれも見ごたえのある作品ばかりでした。力強いもの、なめらかなものなど一つ一つに個性が感じられ圧倒されました。達筆で読めない



▲笠懸書道協会の皆さん

作品もありましたが、それでも作者の思いが込められているのを感じました。

びつくりしたのは、作者の中に90代の方がいること、大人になって始めてから30年以上続けている方もいることです。まさしく「継続は力なり」だと思いました。この書道展は毎年開催されています。

PCで個性を表現

『PCで作る写真展』が2月21日(水)～2月25日(日)、笠懸公民館ふるさとギャラリーにて催されました。

PC西鹿田、PCさくら、パソコン愛好会の3つのサークルが合同で日ごろ各サークルにて磨いたパソコンスキルを駆使した作品を展示しました。

家族や季節の写真を個人的なレイアウトで表現した作品、カレンダーやシルバースタンプなどに加工した作品が並びました。ユニークな

コラム豆電球



冷凍コロッケを上手に揚げるには?

お弁当のおかずなどにとても便利な冷凍コロッケだが、上手に揚げるのはなかなか難しい。表面がキレイなきつね色になったからと揚げるのをやめてしまうと、中はまだカチカチに凍っていたり、中身をホクホクにしようとする外は真っ黒こげ。

こんな経験をした人は少なくないはずだ。

そんなときには、一度だまされたと思って、火にかける前の油に冷凍コロッケを入れ、弱火で加熱してみてもいい。こうすると、中はホクホク、外はこんがりきつね色のコロッケに仕上がるようだ。「油っぽくなるのでは?」と警戒する人もいると思うが、心配はいらない。あくまでも普通に揚げたときと同じに仕上がるらしいし、ときおり起こ

る怖い「油はね」も、この方法で揚げれば、ほとんど起きないようだ。もちろん、コロッケだけではなく、冷凍カキフライや冷凍春巻きなどもおいしく揚げられるらしい。最近では手軽にレンジでチンがあり、こちらもおススメだ。



▲ユニークなコラージュ

カラージュ写真もあり、それぞれ思い出の写真をパソコンで加工することで、制作した人の気持ちがより深く伝わる展示会でした。

美しい風景写真並ぶ

「写真クラブ フォト銀河」が、笠懸公民館ふるさとギャラリーで2月16日(金)から18日(日)に第24回写真展を開きました。

会場には四季の花々や自然の景色、身近な鉄道、工場の夜景などさまざまなジャンルの写真が並んでいました。来場者は「きれいだね」「いいね」などと口にしながら見入っていました。



▲素敵な作品に見惚れます◎

クラブ会員は7人で月1回写真を持ち寄り、互選会を行っているそうです。以前は写真撮影旅行も企画していましたが、会員の高齢化が課題との話でした。

★ 老いも若きもわいわい 公民館で遊ぼう!!

笠懸第2区は福祉部会主催で2月18日(日)に「第6回ゲームレクリエーション大会」2区公民館であそぼう!!」を開催しました。当日は福祉部会長を中心に各団体の役員協力のもと、家族連れや子どもたち約150人が集い、さまざまなお遊びを楽しみました。



▲ベーゴマ回せる??

ホールでは輪投げやターゲットゲームなどの軽スポーツの他、今回初めてエアガンのスポーツ射的も登場し、たくさんの方がチャレンジしていました。昔の遊びコーナーではベーゴマ、あやとり、お手玉など、年配の方が懐かしみながら子どもたちに教えていました。

囲碁とオセロ、健康マージャンは初心者も交じって真剣に取り組んでいました。外では育成会のわたあめやポップコーンも配られました。最後の抽選会ではたくさんの方に豪華景品が当たり、会場は大変盛り上がり上がっていました。

あつという間の2時間でしたが、あちこちで笑い声



▲ポップコーンおいしいよ!!

や歓声があがり、おおいぎわいでした。

防災を考える

40

自宅の地震対策

最大震度7を記録した能登半島地震では、多くの人々が倒壊した家屋の下敷きになるなどして命を落としました。防災を考える時、自宅の耐震診断も重要です。特に1981(昭和56)年以前に家を建てた方には、耐震診断と適切な補強をお勧めします。

次に家具の固定です。

大地震では家具類が転倒、食器棚の食器などが落下・散乱し、けがや避難行動を妨げる要因になります。大きな地震による負傷者の30～50%が家具類の転倒、落下によるものだったという発表もあり、家具類の転倒・落下防止対策は重要で急務です。お金もかかり高齢者には大きな負担になりますが、命を守るだけでなく、けがをしないためにも備えましょう。

令和6年度 笠懸地域文化祭 参加者募集!!

開催日 令和6年 10月26日(土)・27日(日)

お待ちしております



会場 展示部門：笠懸公民館
イベント部門：笠懸公民館および屋外周辺
ステージ部門：グンエイホール PAL
参加資格 主に笠懸地域で活動している団体及び個人であり、実行委員を選出し、文化祭の運営に協力できること。
※実行委員は全3回の実行委員会に出席してください(要望)
申込方法 笠懸公民館にある申込書に必要事項を記入して、公民館窓口へ提出してください。
※複数の部門に参加する場合は、それぞれの部門に実行委員を選出して

申し込み締めきり 5月31日(金) (厳守)

その他 食品衛生法等の規定により、食べ物を扱う場合は1団体1品でお願いします。
主催：問合せ先 みどり市笠懸公民館 電話：0277-76-2211 FAX：0277-76-2836
メール：kouminkan@city.midori.gunma.jp

利用者懇談会の報告 vol.2

昨年11月25日(土)に開催の利用者懇談会でいただいた意見を紹介します。



【活動成果を地域に還元】

「無料で学んだことを地域に還元するということ意識しながら公民館を使っている」という意見があり、いろいろなサークルが、文化祭や地域で発表したり、ボランティアで披露したり、学んだことを教える立場になったり、新しいサークルづくりを応援したりしていることもわかりました。

公民館では、皆さんが公民館を使って楽しく活動しているということ自体が、地域社会への還元の1つと考えています。たくさん活動がある、いつでも参加できる、それが地域を元気にしていると思うからです。

利用者の皆さんには、自分たちの活動が地域に役立っていることを、ぜひ意識していただければと思います。



投稿

かさかけ

どうぶつ家族②

フクちゃん (7区)

フクちゃんはうどん屋さんの看板猫です。仔猫だった6年前、県道の真ん中で鳴いていて大渋滞を引き起こしていたところを偶然通りかかった今のお家の人に保護されました。



▲いらっしやい♪

あなたも家族(ペット)を紹介しませんか!?

募集対象 犬・猫・小動物など、どんな種類の動物でもOK
※品種や飼い主名等は掲載しません。

留意点
・編集協力員による対面取材後に、紙面へ掲載します。
・次号以降のお友達の家族(ペット)の紹介にご協力ください。
・在住区域(行政区等)を掲載させていただきます。

応募方法
飼い主の氏名・連絡先・家族(ペット)の情報を電話またはメールで笠懸公民館までお伝えください。
☎ 0277 (76) 2211
✉ kouminkan@city.midori.gunma.jp

懐かしの昭和歌謡を歌う♪

笠懸第2区の「手作りオーディオ&歌声広場の会」による「歌声広場」が3月11日(月)、2区公民館ホールで行われました。約30人が集まり、戦後から昭和40年ころまでの時代背景のおしゃべりを交えながら歌いました。



▲みんなで歌おうが

昭和歌謡をみんなで一緒に歌いました。80歳代が半数以上を占め進駐軍や脱脂粉乳などの話題で盛り上がり

会メンバーの「カラオケもいいけれど、みんなと一緒に歌えるといいよね」「いつやる?今でしょ!」と話しがトントン拍子に進み今回の開催となったそうです。

代表の藤生さんは、「地域にとらわれず、これからも定期的にやりたい。オーディオもスピーカーやアンテナなど興味のある人と手作りたい。バンド活動している人ともコラボしたい」とこれからの思いを語ってくれました。

手作りスピーカーが参加者の前で活躍していました。

四季の会 三月句会

きさらぎや花なき庭の猫やなぎ
古ひいな出せば亡き母思ひだす
如月や身支度をする朝の四時
ひな飾る娘十八器量よし
水ぬるむ社のフリマ人の波
暖かしペダル漕ぐ児や三輪車
よもぎ摘む夫とふたりの蓬餅
掻き分くる垂れ桜の夢芝居
路の臺おやきに入れる母の味
春の雪やしき稲荷の影確か
野遊びの孫の自転車押しをり
庭のすみ三つ葉を摘んで菜飯かな
しらす干し猫のさいそく過疎の村
干し鱈の茶漬けで良いと昼厨
薔薇の芽の大きくなりて夫の声
春セーター喜ぶ友に呆け防止
鳥羽谷の妻の実家や朝霞
せり摘みに誘われ歩く河川敷
春蘭の蕾の立ちて石の陰
山の水汲みゆく沢のすみれ草
春耕の田畑に人の賑ふて
二日酔い頭すつきり春の雷
命あることに感謝や桜咲く
釣りたての鱒を兄に届けをり
三極の花を墓前に梅田郷
巡りゆく森羅万象さくら咲く
作曲の手元がとまる雪の果て
室採りの櫂の芽を買ふ道の駅
卒園の孫もピカピカ一年生
三つ葉摘み菜飯を炊くや嫁の味
ボス猿の家族引き連れ山笑ふ
シベリアへ向かふ旋回鶴かへる
如月や女流俳人「和美」逝く

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 金 | 宇野 | 村田 | 宇野 | 楳沢 | 小林 | 山本 | 小林 | 糸井 | 宇野 | 徳田 | 糸井 | 石原 | 新羅 | 韓 | 横倉 | 細川 | 中村 | 前原 | 川道 | 糸井 | 高野 | 金井 | 泉 | 高野 | 佐藤 | 平川 | 松島 | 山本 | 細川 | 中野 | 国木 | 櫻本 |
| 光 | 勘 | 小 | 希 | 春 | 華 | 歌 | 狐 | 初 | 順 | 夕 | 佳 | 青 | 光 | 日 | 和 | 喜 | 紫 | 梅 | 光 | 英 | 純 | 春 | 美 | 香 | 秋 | 陽 | 舞 | 由 | 千 | 美 | 千 | |
| 月 | 大 | 町 | 子 | 蘭 | 笑 | 仙 | 一 | 音 | 雪 | 子 | 醉 | 蓮 | 海 | 紅 | 雅 | 女 | 蘭 | 光 | 麿 | 蝶 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 |



上毛かるた①

御朱印レディー

利根は坂東一の川

群馬県の真ん中を流れる利根川は、全長322kmで信濃川に続いて2番目に長く、みなかみ町を水源に伊勢崎市から東に曲がり、千葉県の銚子に流れるその流域面積は日本一です。

「坂東太郎」の愛称で呼ばれ、関東一の利根川のように群馬の子どもたちが、悠々とした広い心で家族や友だちと協力し、世界を見ながら大きく成長して欲しいと願う札です。

県庁から見る利根川はと



▲坂東太郎

初代から15代までの酒井家歴代藩主の墓と、酒井家の分家・伊勢崎藩主の初代と6代の墓があります。また庭園もありますので、一度散策に行ってみては？



▲龍海院の御朱印

ても迫力があり、感動しました。

県庁と利根川の直ぐ近くにある龍海院は、前橋藩主酒井家の菩提寺です。

岡崎城主だった徳川家康の祖父・松平清康が創建した酒井家の墓所。「大珠山是字寺龍海院」の名は、是

列車にゆられて(69)

つくばエクスプレス

野村 哲

地方のローカル線ではありませんが、つくばエクスプレスを紹介します。正式な名称は「首都圏新都市鉄道」といい、秋葉原〜つくば間58.3kmを結んでいます。

常盤新線とも言われ常盤線の混雑緩和のために作られました。開業は比較的新しく、2005(平成17)年8月に開業しました。全線電化ですが、秋葉原〜守谷



▲1000系

間は直流電化、守谷〜つくば間は交流電化となっています。駅は起終点駅を含め20駅あります。列車は地下ホームの秋葉原駅を出ると北千住駅まで地下区間で、全線の約25%が地下といえます。そして、高度を上げて高架上に出ると展望は抜群です。地下にもぐったり高架上に出たりを繰り返します。全駅可動式ホーム柵となっております、安全対策は万全

4位入賞 上毛かるた県大会

5年ぶりの通常開催となった第75回「上毛かるた」競技県大会が2月12日(月)にALSOKぐんま武道館(前橋市)で開催されました。

小学校高学年個人の部では、みどり市代表の菅野結愛さん(笠懸6区子ども会)が予選7試合を2位で



▲4位入賞の菅野さん

通過しました。順位決定戦の4位〜6位リーグでは全勝し、みごと4位に入賞しました。

です。そして、終着駅のつくば駅まで踏切がありませんので、最高速度の130km/hまで速度を上げて走ります。

車両はTX1000系(直流)、TX2000、3000系(交流)です。列車の運行形態は、快速、通勤快速、区間快速、普通があり、快速は最短45分で秋葉原〜つくば間を結んでいます。
運賃 つくば〜秋葉原 片道1210円
期間限定フリーキップ 2420円

いつてみた!!

① 茂左衛門千日堂

御朱印レディーさんが紹介していたみなかみ町月夜野の茂左衛門地蔵尊千日堂に行ってきた。途中、真田氏にゆかりのある沼田城公園に立ち寄った。天守の一角から北の方向に雪をかぶった谷川連峰、上州武尊山がどっしりと構えていた。

公園から自動車で約20分、千日堂に着いた。冷たい雪下ろしの風の中で境内を散策する。ふと歴史を紐解けば、ときは5代將軍徳川綱吉の時代、沼田藩主4代目真田信利の悪政に苦しむ領



▲歌人・石田マツの歌碑

民たちに、命をかけて救済した月夜野の農民・杉木茂左衛門とその家族の霊を祀つてある。真田家は改易になるものの茂左衛門は磔刑となる。1681(元和元)年の出来事である。茂左衛門の功德を思い起こしながら境内を散策した。

境内のひときわ目立つ歌碑には「どこにいても真面目に働けば 青空と人の情

けは我に美しい」と刻んであった。月夜野の人で貧しい農家の長女として生まれ、逆境の中で貧しさを詠んだ歌人・石田マツさんの句だった。地元有志が石田さんを偲んで建てられたという。

② さちの池

御朱印レディーさんの上毛かるたシリーズを楽しみに見ている。子どもたちが小学生の頃「上毛かるたの地を訪ねてみよう」と家族でチャレンジ。結局、伊香保と太田で終わってしまった。

先日(9)に載っていたさちの池、県庁展望台、前橋東照宮を歩いて回った。近くの臨江閣(入場無料)にも寄ってみた。歴史を知る

そして千日堂を後にし、続日本100名城の名胡桃城へ向かった。

(歩遊人)



▲趣ある臨江閣庭園

ことができなくて見えたえがあった。その和風庭園で、花嫁衣裳で撮影中のカップル3組に会い幸せな気持ちを共有した。

今思うと子どもの時は意味もわからずかるた取りをしていたが、奥深いなあ、(9)

笠懸短歌サークル

二月例会より

こだはりを忘れて暮らすつね日頃老いる事にも良きことはあり

若き日の友よりのラインなつかしく話は尽きぬ休日午後の午後

陽光に梅枝の雪はとけ落ちて白き蒼がきらきら輝く

数々の名曲残し八代重紀「ありがとう」の言葉残して逝きぬ

傾くや野良着の膝より冷えのくるひと日穏しき冬の陽なるに

倒壊の家そのままに連なれる1月後なる被災地の映像



上村 征子

加藤 康子

久保田茂子

近藤ふさ子

関口 定夫

平山 勇

ちょっと一息



近年、スマートフォンが普及で生活が便利になった。支払いから道案内、本まで読める。人とのコミュニケーションツールにもなっている。心なしか、若者の姿を見るとスマホを見ている体型になつていっているように感じてしまう。

便利になるとその代償があるといわれるが、スマホ依存症などというものもあるようだ。これも時代の流れなのだろうか。

永遠の課題ともいわれるダイエットも変わりつつあるようだ。キャベツダイエットや炭水化物抜きダイエットなど、偏ったダイエットは偏った体づくりになつてしまいかねない。ご飯を食べないと一時的な減量にはなるが、体の水分が抜けてしまい、肌荒れや便秘を引き起こしてしまう。やはり糖質の部類は必要だ。昔からいわれられている適度な食事、適度な運動がダイエットの基本と見直されてきているようだ。

(KAZU)